



## 1 SDGs（持続可能な開発目標）推進

**Q1.** 国が選定する「SDGs未来都市」への応募を検討してはどうか。

**A.** 応募を検討していく。



ひとくちメモ

「SDGs未来都市」とは、優れたSDGsの取組を提案する地方自治体に国が財政的な支援を行い、SDGsを原動力とした地方創生を推進していくこととなります。

**Q2.** エシカル消費の普及啓発を行ってはどうか。

**A.** エシカル消費の理念や取り組みについては、区の広報媒体や各種イベント等を活用しながら、より分かりやすく、効果的な普及・啓発を推進していく。

## 2 環境問題の取り組み

**Q3.** 区有施設の再生可能エネルギー 100%の現状と切り替えによる電気料金への影響は？

**A.** 7月から約8割の施設が切り替わり、**区が契約できる施設は全て切り替えができる**。残りは指定管理施設や貸付施設のため、契約更新時に切り替えを進める。**電気料金は切替前とほぼ同額**となる見込みである。

ひとくちメモ

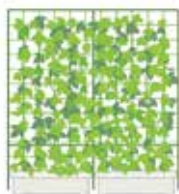
区での再生可能エネルギー導入を推進をするため、区が範を示すべきと**区有施設の再生可能エネルギー 100%実施を私が初めて要望し、実現することができました**。

**Q4.** 今年度想定されている**電力供給不足に対し、熱中症に注意しつつ**、節電等の啓発を行うべきではないか。

**A.** 電力を「減らす」「創る」「蓄える」取り組みを進めるとともに、具体的な節電の方法を呼びかけていく。

**Q5.** 小中学校の新築や増築といった大規模事業だけではなく「LED」や「二重サッシ」といった**部分的な事業への補助金を活用**した整備とともに、環境教育に結びつけてはどうか。

**A.** 緑のカーテン、太陽光パネル、人感センサー付き照明器具の設置など、**既存校でも省エネルギー化を推進し**、さらに子どもたちの関心を高めていきたい。



## 3 文化芸術施策推進

**Q6.** 今年度策定する「文化芸術基本方針」に、**障害者のための施策や引きこもり、認知症対策のための文化施策**など健康福祉の観点の施策を盛り込んではどうか。

**A.** 障害者の文化・芸術活動の交流や発表機会の充実など、健康福祉の観点を踏まえた取り組みの方向性を示す。

## 4 外国人との共生

**Q7.** 今年度に外国人との共生の方針を策定する。**外国人の相談をワンストップ窓口**で受け止め、必要なサービスや支援につなげていく仕組みを構築すべきでは。

**A.** 外国人に対する総合的な相談機能は、引き続き検討する。

**Q8.** **ウクライナ避難民支援**で、今後は特に就労生活に関する支援も区として行うべきではないか。

**A.** 東京商工会議所中野支部等に協力を依頼するなど、区内事業者へ働きかけをするを作成したい。



ひとくちメモ

ウクライナ避難民支援は、**4月7日に公明党議員団が区長に緊急要望**を実施。避難民へ早い段階での相談窓口、翻訳機確保、都営団地との連携等、迅速な対応をしていただきました。

## 5 認知症対策

**Q9.** 9月から始まるもの忘れ検診（認知症検診）により認知症が発覚した場合の本人、家族へのフォローアップをすべきではないか。

**A.** 区から電話をかけ、状況を把握し、支援機関につなげる。家族に対しても電話をかけ、状況に応じた支援サービスなどを説明し、相談に対応する（**4面に詳細**）

## 6 マイナポイント事業の推進

**Q10.** マイナポイント付与のみならず、取得のメリットを丁寧に説明するなど、このチャンスを活かして積極的に広報活動を行い、カードの普及向上につなげていくべきではないか。

**A.** マイナンバーカードのメリットを丁寧に説明し、カードの普及に努めていきたい。（**4面に詳細**）

# 特集

議員活動の紹介

## 議員は何をしているの？①「区議会議員を志したきっかけは？」

祖父は太平洋戦争の西部ニューギニア戦線で戦死しました。祖母は私にニューギニアに慰安に行った際の映像を見せてくれました。海辺に花を投げ、祖父に「広一は平和のために頑張ります」と報告していた祖母。祖父に平和を誓った祖母が、私を平和に貢献する人材にと育ててくれました。

世界平和のため一番大変な地域で貢献しようと、アフリカに尽くすことを決意。アフリカ、ガーナに留学。途上国の生活を経験すると共に、アフリカの人々の価値観、人間性に触れ、物質的な豊かさ、貧しさは人間の幸せには直結しないことを肌身で体験。アフリカにそのまま永住したいと思っていました。

帰国後はアフリカ美術品民芸品専門商社に入社し、アフリカの文化芸術の紹介、アフリカ

の産業の支援をする仕事に従事。上海万博の責任者として上海に駐在し、世界中の方と交流すると共に、世界の中の日本の長所短所を実感しました。

上海万博終了後、中野区議会議員に挑戦しないかとお話をいただきました。アフリカへの貢献が自分の平和への貢献と聞いていたので、お受けするか相当悩みました。実は、私の父は実家のある青森で市議会議員をしていました。くも膜下

出血で半身不随になり、すでに勇退していました。改めて父の生き様を振り返り、身近な地域・人に尽くすことが最も平和に貢献することと決意し、区議会議員に挑戦することにしました。

新型コロナウイルス感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻などにより、世界の出来事が私たちの生活に直結するグローバルな時代となっていることが改めて認識されるようになりました。SDGs推進の重要性が高まりと共に、私のアフリカで経験し、学んだ貧困、環境問題、人権などへの取り組みを活かせる機会が増えてきたことを実感します。

中野区議会議員の中で唯一、発展途上国で生活、仕事をしてきた経験のある議員として、中野区でのSDGsの推進は、私の役割、使命と感じます。



祖母、母と。私も若い時代ありました。



国立ガーナ大学留学時代。



上京してきた議員時代の父と。